

2018年8月14日(火) 9:21 <ken.wa.fu@ezweb.ne.jp>:

—何人も逃れる能わず—

自然の摂理から《気候変動は Fe^{2+} 二価鉄》を水域水圏に補給し、再び温暖化ガス, 他を固定化すれば環境問題を確実に抑制できる日本クオリティ理論。

平等に降りかかり

必ずつづく地球規模で生存を脅かす様々な災害(大火災, 大水害, 干魃による飢饉, 氷河の減少, 海水温上昇, 水質悪化, その他)すべての原因は人類起源の地球温暖化!

定説⇒温暖化は気候変動や異常気象をも引き起こす。 ※メディアは不安ばかり煽らず、評論家にならず、真剣に皆で解決策を探ろうヨ

◎温暖化を引き起こす真の原因は「人類由来の化学物質」and 温暖化ガス(二酸化炭素, 亜硝酸態窒素, メタンガス, 他)の短期間の無量放出にあり……。

◎【仮説: 水圏の二価鉄不足】⇒水域水圏に溶け込む温暖化ガスおよび人類のエゴで作る様々な化学物質は……→溶存する二価鉄 Fe^{2+} と化学結合すれば『水溶性を失う固定化』をする。だから全鉄量(T-Fe)はあれど、水棲動物植物に摂取できる『溶存態の二価鉄は不足』する。

▼つまり、水域水圏を【貧鉄状態】にしている。

地球温暖化を引き起こす根源は地球が○億年かけ化学固定や生物固定で蓄積(堆積)した様々な地球資源の『金属鉄鉱石, 石灰石, 石油・シェールガス, 石炭, メタンハイドレート, 他』を人類のエゴ勝手にわずか 200~300 年の瞬時に際限なく採掘し、人為で温暖化ガス・石油化学に分解して排出しつづけ、大気中に放出。

地球 70%を占める水域水圏に溶け込ませた事が

『溶存する二価鉄を化学力で固定化』した因果 と知るべき

温暖化で一旦上昇した海水温は冷めにくい。

陸上および水棲の生態系や生物多様性にも悪影響 と 弊害をゆっくり確実に及ぼす。だから、温暖化ガスの排出削減は重要。

【确实策】

それ以上に、二価鉄補給で 確実に 化学物質や温暖化ガスを消費・固定・解消もすべき。

これぞ日本発で“本物のカーボンオフセット”

⇒水域水圏中にて『発生期の無垢な二価鉄』を発生補給し
二価鉄の多機能・多様性(化学特性,科学特性,他)を総合活用すれば、

【自然の摂理】

- ◇ 溶け込む化学物質・温暖化ガスを水棲動物植物の活性や循環に…,
- ◇ 溶け込む二酸化炭素を「光合成」で消費し酸素を創り, オゾンも…,
- ◇ ドンドン溶け込む化学物質・温暖化ガスを化学固定し沈殿…,
- ◇ 科学特性の生物活性, 増殖 等で動植物に固定,蓄積の消費…。

それには、

動植物に必要な不可欠の必須ミネラルであり多機能性をもつ『発生期の無垢な Fe^{2+} 二価鉄』が 唯一不二

人として生まれた私役割

(厚狭の寝太郎さん二世)

杉本幹生

Tel 090 8363 5734